

消防団員用合冬帽 仕様書

京都市消防局消防団・自主防災推進室

(担当：采女、鳥居 212-6617)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する男性消防団員用合冬帽の仕様について定める。
- 2 この男性消防団員用合冬帽に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この男性消防団員用合冬帽は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて京都市消防局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議をすること。

- 5 使用生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、染色後の生地見本（10cm四方以上、染色にあつては染色が必要な生地に限る。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。ただし、国内紡績メーカーの品質証明により、本仕様書の性能を満たしていることが判断できない場合は、公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。
- 6 落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上、染色にあつては染色が必要な生地に限る。）、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表を当局へ提出するとともに、承認を得ること。ただし、国内紡績メーカーの品質証明により、本仕様書の性能を満たしていることが判断できない場合は、公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出するとともに、承認を得ること。

なお、同等品で納入を希望する場合において、既に提出済みの書類については、再提出の必要はないものとする。

- 7 落札業者は、本製作に着手する前に見本を製作し、当局の承認を得ること。
- 8 サイズについては、別添1「男性消防団員用合冬帽寸法表」のとおりとする。
- 9 別添1「男性消防団員用合冬帽寸法表」に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き、調製すること。
- 10 製品は袋に入れ、表にサイズ表示を記入すること。
- 11 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあつては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 12 各サイズの内訳については、契約後指示する。
- 13 契約後打合せを実施する。
- 14 請求書は、購入物品ごとの単価及び数量がわかるよう明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

1 調達数

60個

2 履行期限

令和9年3月31日（水）まで

3 納入場所

京都市消防局 北野倉庫

京都市上京区今小路通御前西入紙屋川町870番地

第3 素材

1 表生地 日本毛織3210又は同等品とする。（詳細は別添2「生地仕様」を参照）

2 裏生地 トロピカル黒E100、ビニール0.1透明、丸型

3 フクラシ芯 不織布黒

4 庇 ビニール製消表皮しば、裏レザーしば入、ヘリ二重ベリ、黒色

5 あご紐 黒消厚ビニール 12ミリ巾金止

6 ピン皮 スポンジレザー穴開き 黒色45ミリ巾

7 耳釦 指定消防団章を付した耳釦割足真鍮製

8 蛇腹 黒色人絹斜子縁30ミリ巾

9 腰芯 黒色1.3ミリ厚 ポリエチレン50ミリ巾

10 前立 扇型ポリエチレン黒色平鋼鉄線2本入

11 天張り カマボコ型ビニールパイプ黒色針金2本入

12 帽章 消防局指定の消防団章を中央に付し金モール縫い

13 鳩目 真鍮製エナメル黒天塗り

14 片布 差込カードで所定の様式のものとする。

帽子内部の中央前寄りに片布挿入箇所をビニールで作ること。

第4 縫製

1 裁断は、天井及び腰地に色違いなき様に注意すること。

2 縫い始め、縫い終り箇所は、縫い返しをすること。

3 各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

4 縫い目のとび、はずれがないこと。

5 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりがないこと。

6 縫い目数は、指定どおりとすること。

地縫 針数12針以上3センチ間、飾りステッチ巾2ミリ地縫いは5ミリ以上

7 各部の合標、曲線に十分注意すること。

8 裏天井は、裏地の上にビニールシートを縫い付け円型とし、透明ビニールの氏名入

れポケットを装着し、天井と縫い付けること。

9 まち縫いは、前面2枚、後面2枚を縫い合わせ、縫い目の両端は、飾りミシン縫いとする。

10 腰布は、腰布の下部に玉縁をつくり、両端を縫い合わせ輪状とする。

11 天井とマチを縫い合わせ、縫い目の両端は、飾りミシン縫いとする。

12 マチと腰布づけは、マチの下部と腰の上部を縫い合わせ腰の縫い目は、後方とする。

13 腰枠づくりは、腰枠をとし、ホッチキスで止め、前立ばねを付ける。

14 庇及びすべり付けは、腰枠を腰布下部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシン縫いをする。

前面中央に庇を付け、後部重ね目は、ハトメで止める。

15 天張りは、針金二本で接着し、形を整えて装着する。

16 あご紐は、所定の位置に耳釦にて止めて押さえる。

17 その他については別図のとおり

[illegible]

消防団員用合冬帽 生地仕様（表生地）

下記の生地又は同等品とする。

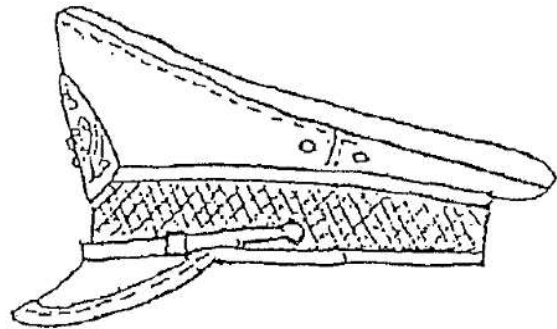
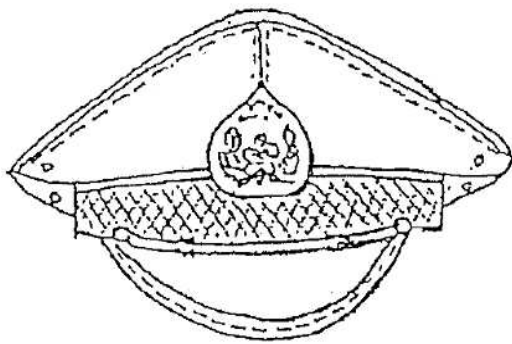
メーカー		日本毛織
品 名		3 2 1 0
素 材		毛(カシマ)
混紡率		毛 1 0 0
番手	経	2 / 6 4
	緯	1 / 4 0
密度	経	498 以上
	緯	390 以上
組 織		ドスキン
重 量		285 以上
引裂 強力	経	45 以上
	緯	25 以上
収縮 率	経	3.0 以下
	緯	3.0 以下
色 相		黒
染 色 堅 牢 度	耐光	6 級以上
	洗濯	4 級以上
	摩擦	4 級以上
	汗 酸	4 級以上
		アルカリ 4 級以上

片布様式

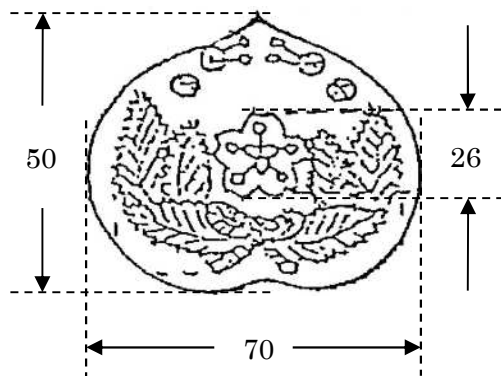
	所 属	京都市 消防団 分団
	氏 名	
	サイズ	
	(業者名) 納	

別図

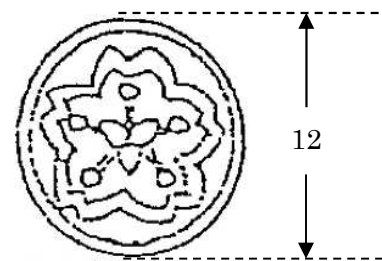
消防団員用合冬帽



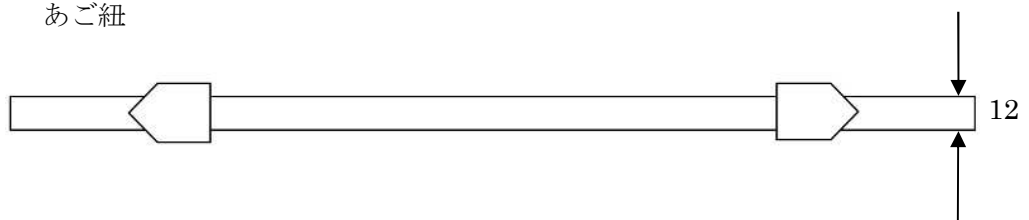
帽章



耳釦



あご紐



(単位 ミリメートル)

消防団員用合冬服 仕様書

京都市消防局消防団・自主防災推進室

(担当：采女、鳥居 212-6617)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する男性消防団員用合冬服（上衣、ズボン）の仕様について定める。
- 2 この男性消防団員用合冬服（上衣、ズボン）に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この男性消防団員用合冬服（上衣、ズボン）は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて京都市消防局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議をすること。

- 5 仕様生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

なお、公的機関の試験成績結果を証明する書類について期限までに提出できない場合にあっては、契約後に提出することを認める。（契約後提出する旨の申出書を提出すること。）ただし、契約後、当該書類の確認により同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。

- 6 落札業者は、本製作に着手する前に見本を製作し、当局の承認を得ること。
- 7 サイズについては、別添1「男性消防団員用合冬服寸法表」のとおりとする。
- 8 別添1「男性消防団員用合冬服寸法表」に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き、調製すること。
- 9 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 10 製品は所要の表示をした紙箱に入れ、それには品名及びサイズを表示すること。

- 11 補修布を入れること。
- 12 各サイズの数量及び納品場所別の内訳については、契約後指示する。
- 13 契約後打合せを実施する。
- 14 請求書は、購入物品ごとの単価及び数量がわかるよう明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

1 調達数

上衣 60着

ズボン 60着

2 履行期限

令和9年3月31日（水）まで

3 納入場所

京都市上京区今小路通御前西入紙屋川町870番地

京都市消防局北野倉庫

第3 上衣

1 型式

剣襟 シングル3釦 左胸箱縁ポケット 袖口金線
両腰片玉縁付きポケット 背抜き仕立てセンターベンツ

2 使用素材及び付属品

表地 日本毛織3210又は同等品とする。（詳細は別添2「生地仕様」を参照）

裏地 東レ72J

袖裏 東レ72J

袋地 4号スレーキ

前芯 バイリーン3140

肩パス 不織布 くせ取付き

カラークロス フェルテース80 黒

肩綿 良質の綿 毛芯入り

釦 消防団章入り金属製

袖線 金糸縹

衿吊 黒8ミリテープ

サイズマーク 印刷号数表示

品質表示 印刷絵表示

テープ 平織り及びバイアス織りテープ12ミリ幅

縫糸 ポリエステル50番黒色

3 縫製条件

(1) 裁縫

糸調子は上下糸共、つれ、たるみがないように最良の調子で縫い、返し針を完全に
する。

(2) 裁断

型入れは布目を正しく通し、全体を同一の反であるように番号または記号を付け
るなど十分注意すること。

(3) 仕立て

優美なスタイルで、着崩れの無い仕立てとすること。

(4) 仕上

糸屑を取り、丁寧にプレスをすること。

4 縫製要領

(1) 襟及び襟つけ

カラークロスに芯を張り、折返線はミシン縫いをする。

芯はバイアスで取り、表襟とカラークロスを合縫い返しをし、表襟は見返しと合
せてミシン縫い割りとする。(ドンデン返し縫いは不可)

返し襟幅標準 8.5 センチ 襟先幅別図とおり 襟腰幅 2.5 センチ

(2) 襟穴

左下襟に襟章付けの襟穴をつける。

(3) ステッチ

上襟、返し襟、フロント、胸、胸ポケット、雨蓋に幅 6 ミリのステッチを入れる。

(4) 身返し

襟付けから裾まで継ぎ目なし。身返しは第 1 釦で位置で巾 9 センチ、裾で巾 8 セ
ンチ以上とする。

(5) 返し止め縫い

身返し上部から内ポケットまで、すくい縫いを入れる。

(6) 胸ポケット

上部に箱かくしポケットを 1 個設ける。

口幅 11 センチ、深さ 14 センチ、箱幅 2.6 センチとする。

(7) 腰ポケット

片玉縁フラットポケット フラップ幅 5.5 センチ、口幅 15 センチとし、深さは標準 20 センチとし、片玉とする。

下前のみ忍ポケット付きとする。

(8) 肩縫い

割り縫い裏地は肩倒しとする。

肩綿を肩先の芯と裏の間に取り付ける。

(9) 背縫い

表は縫い割りとし、裁目は絡げミシン始末とする。

(10) 脇縫い

裁目はカラゲミシンで始末する。

(11) 裁腹

前身表の袖下から裾まで裁原とし、切り替える。

(12) ダーツ

胸1本、裏も同様。

表ダーツは縫い割、裏ダーツは片倒しとする。

(13) 袖及び袖付け

ア 表地、地裁割、袖芯を入れ、裏地と中トジをする。

袖先から10センチに、階級により金糸縹線を逢着する。

袖先表地の折返しは、4センチとする。

イ 袖付け裏は、手まつり又は串ぬいとする。

ウ 団長用の袖章を縫い付ける。

(14) 裏

前身は裏付きとし、背裏は背抜き仕立てとする。

背中央で25センチ、脇で11センチとする。

背裏裾はくさり留で表地縫い代に2センチの浮かし留め縫いとする。

背裏裾は、1.5センチの三つ折りとする。

(15) 内ポケット

左右各1個、両玉口幅14センチ、深さ20センチ

三角型雨蓋釦止めとする。

(16) タバコ入れ

上前の身返しにかけて、口幅9センチ、深さ10センチ

両玉縁ポケットをつける。

(17) 芯

前身に指定の芯を入れる。

(18) 裾

表地折り返し仕上がり4センチとし、裏地は1センチのキセ掛けとする。

(19) 階級章止め

下前の所定の位置に、別図のとおりループ2本を付ける。

(20) ボタンホール

鳩目機械穴とする。

(21) 襟吊り

襟腰中央につける。

(22) 号数表示

襟吊りの下位置につける。

(23) 片布

下前内ポケット口下 6 センチにつけ、号数を記入する。(別図のとおり)

(24) 品質表示

片布下方に縫い付ける。

(25) その他

別図のとおり

第 4 ズボン

1 型式

長ズボン 腰ベルト (4 センチ) 付き 外タック ループ付き
前ファスナーあき 両脇斜切換ポケット 両後ポケット雨蓋なし
片玉縁ポケット 裾口シングル 側章付き

2 使用素材及び付属品

表地	上衣と同じ
袋地	T. R クリーム
腰裏	1 段 腰裏 マーベルト 3 8 ミリ
ひざ当て	ISA グレー
ファスナー	YKK ミトラ 金属製
釦	黒 1 5 ミリ
前カン	真鍮製 PP 用
側章	人絹縞縁 1 5 ミリ 黒色
サイズマーク	印刷号数表示
品質表示	印刷絵表地
縫糸	ポリエステル 5 0 番 黒

3 縫製条件

上衣に同じ

4 縫製要領

(1) 腰ベルト

仕上がり 4 センチとし、縦地使用で指定の芯を入れる。

(2) 腰裏

7 0 ミリ幅すべり止め付マーベルト付きの腰裏とし、表地と無理のないよう注意し、入念に縫製する。

(3) 前タック

左右各 1 本、外向きにつけ、その深さは 1 センチとする。

(4) ヒザ当て

腰上端から、横地でヒザ当てをつける。

(5) 脇ポケット

左右各 1 個、斜め切換ポケット上部から 5. 5 センチ下がり、標準口幅 1 5 センチ、深さ口下端から 1 3 センチとする。

口両端は、かんぬき止めとする。

(6) 忍ポケット

右脇ポケット内に忍ポケットをつける。

(7) 尻ポケット

後身左右に各 1 個つける。

上端から標準約 8 センチ下がりの位置に口幅標準 1 4 ～ 1 5 センチ、深さ 1 8 センチ、片玉とする。左ポケットのみ釦止めとする。

(8) 側章

指定の黒縞縁を脇線より後身側につける。

(9) 後ダーツ

2 本とし、地縫片倒しとする。

ウエスト 1 0 0 センチ以上の場合は、1 本も可。

(10) 相引 内股 尻縫

裁目はオーバーロック縫い、尻縫い、内股、相引は二重縫い又は環縫いとする。

(11) 天狗及び前立

天狗及び前立に芯地を入れる。

前環及びファスナー付き。

天狗先は釦止めとする。

(12) ベルト通し

上端から 1 センチ下がりに幅 0. 8 センチ、長さ 4. 5 センチのループ 7 本をつける。

(13) シック

内股に巾 2 センチ長さ 1 0 センチの棒シックを取り付ける。

(14) 裾

表地折返しは、6 センチ以上とする。

(15) 靴ずれ

表地反耳を利用、幅 2 センチ、長さ 1 8 センチの靴ずれをつける。

(16) 穴かがり

鳩目機械穴とする。

(17) 号数表示

前立端につける。

(18) 片布

上前、脇ポケット内側につけ、号数を記入する。(別図のとおり)

(19) 品質表示

片布下方に縫い付ける。

(20) その他

別図のとおり

男性消防団員用合冬服 寸法表

上衣 (単位 c m) 許容差 ± 1 c m

サイズ	着 丈	肩 幅	袖 丈	胸 囲	中胴廻
A 1	7 9	4 9	6 1	1 1 9	1 1 4
A 2	7 7	4 7	5 9	1 1 5	1 1 0
A 3	7 5	4 5 . 5	5 7	1 1 1	1 0 6
A 4	7 2	4 4	5 5	1 0 7	1 0 2
A 5	6 9	4 3	5 4	1 0 3	9 6
B 1	8 0	5 1	6 1	1 2 5	1 2 0
B 2	7 8	4 9	5 9	1 2 1	1 1 6
B 3	7 5	4 8	5 7	1 1 7	1 1 2
B 4	7 2	4 6	5 5	1 1 3	1 0 8
B 5	6 9	4 5	5 4	1 0 9	1 0 0
C 1	8 0	4 7	6 2	1 1 5	1 0 8
C 2	7 8	4 5 . 5	5 9	1 1 1	1 0 4
C 3	7 5	4 4	5 7	1 0 7	1 0 0

ズボン (単位 c m) 許容差 ± 1 c m

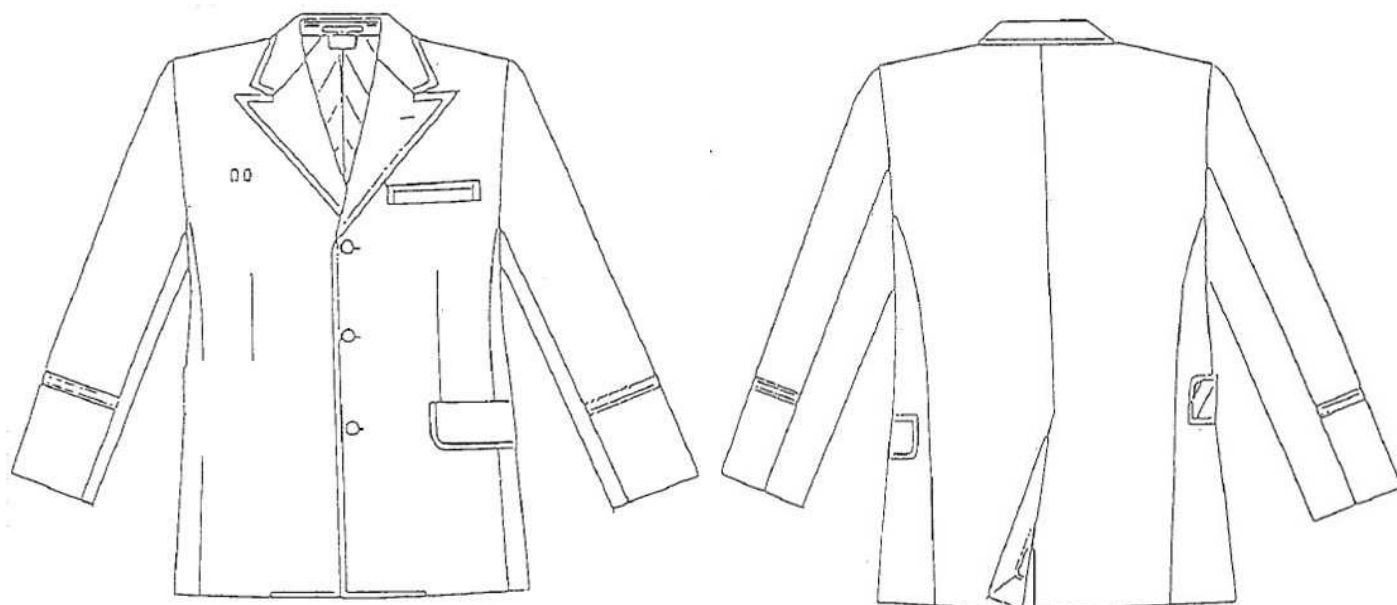
サイズ	腰 囲	ズボン丈	股 下	ワタリ	裾 巾
A 1	9 2	1 0 8	7 7	3 6	2 5
A 2	8 8	1 0 5	7 5	3 5	2 4
A 3	8 4	1 0 0	7 2	3 4	2 4
A 4	8 0	9 6	6 8	3 3	2 3
A 5	7 6	9 2	6 5	3 2	2 3
B 1	1 0 5	1 0 6	7 5	3 9	2 5
B 2	1 0 0	1 0 3	7 3	3 7	2 5
B 3	9 5	1 0 0	7 0	3 5	2 5
B 4	9 2	9 8	6 8	3 4	2 4
B 5	8 8	9 5	6 6	3 3	2 4
C 1	8 4	1 1 0	8 1	3 4	2 4
C 2	8 0	1 0 7	8 0	3 3	2 3
C 3	7 6	1 0 6	7 9	3 3	2 3

消防団員用合冬服 生地仕様（表生地）

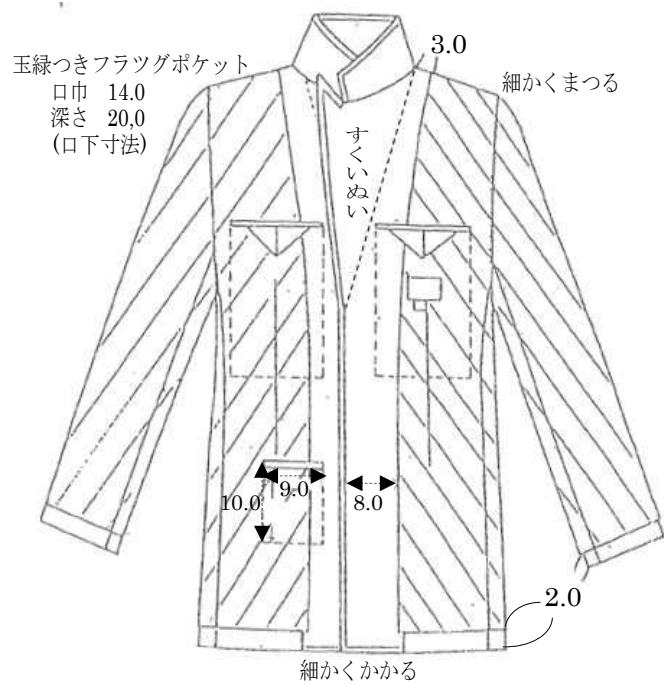
下記の生地又は同等品とする。

メーカー		日本毛織	
品 名		3 2 1 0	
素 材		毛(カシマ)	
混紡率		毛 1 0 0	
番手	経	2 / 6 4	
	緯	1 / 4 0	
密度	経	498 以上	
	緯	390 以上	
組 織		ドスキン	
重 量		285 以上	
引裂 強力	経	45 以上	
	緯	25 以上	
収縮 率	経	3.0 以下	
	緯	3.0 以下	
色 相		黒	
染色 堅 牢 度	耐光		6 級以上
	洗濯		4 級以上
	摩擦		4 級以上
	汗	酸	4 級以上
		アルカリ	4 級以上

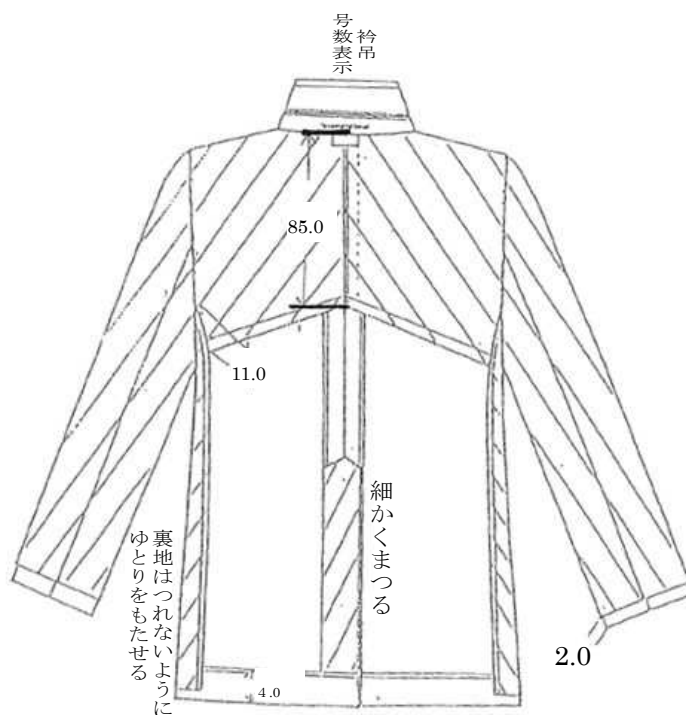
別図



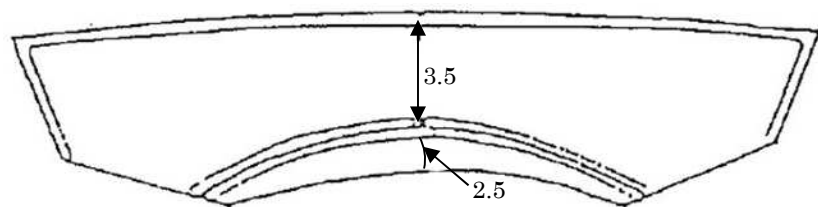
【前面裏図】



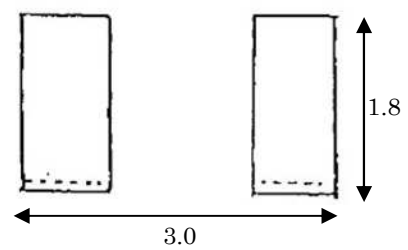
【後面裏図】



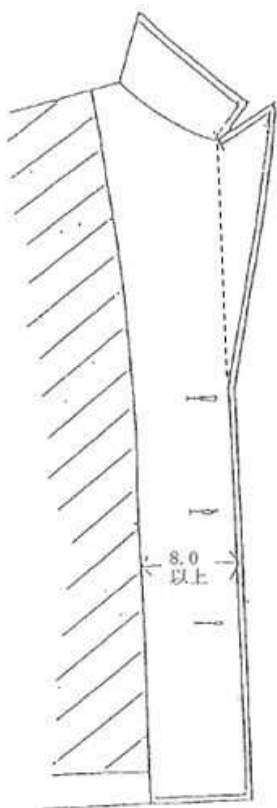
【衿】



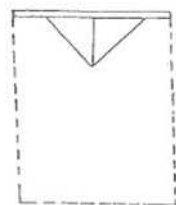
【階級章付け】



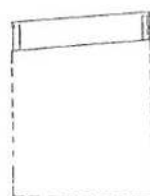
【身返し】



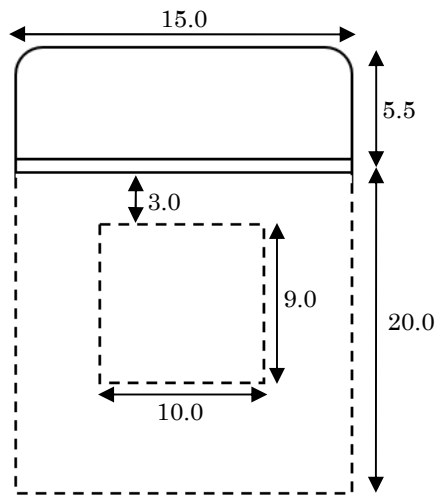
【内ポケット】



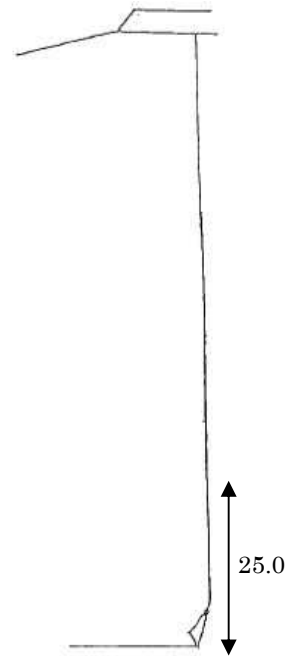
【胸箱ポケット】



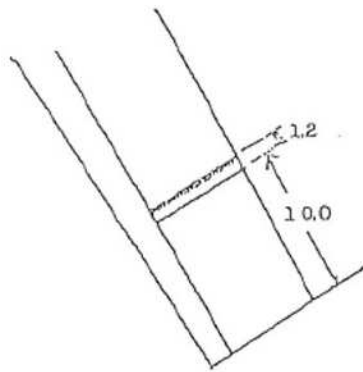
腰フラップポケット



センターベンツ



袖章

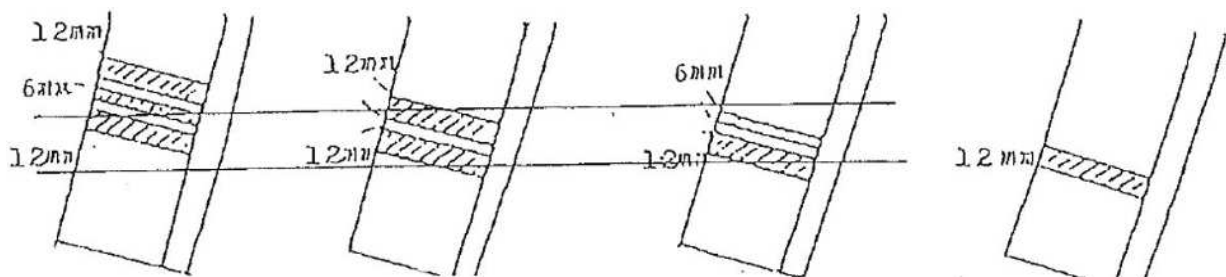


団長

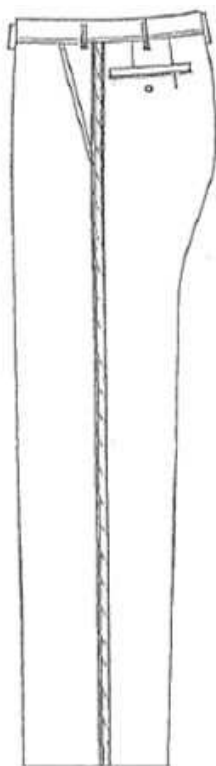
副団長

分団長・副団長

部長・班長・団員



側面図



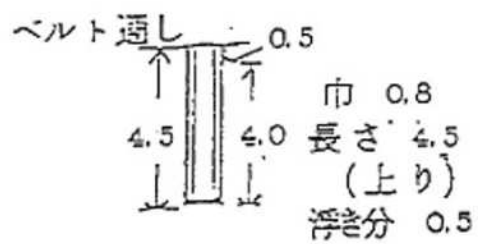
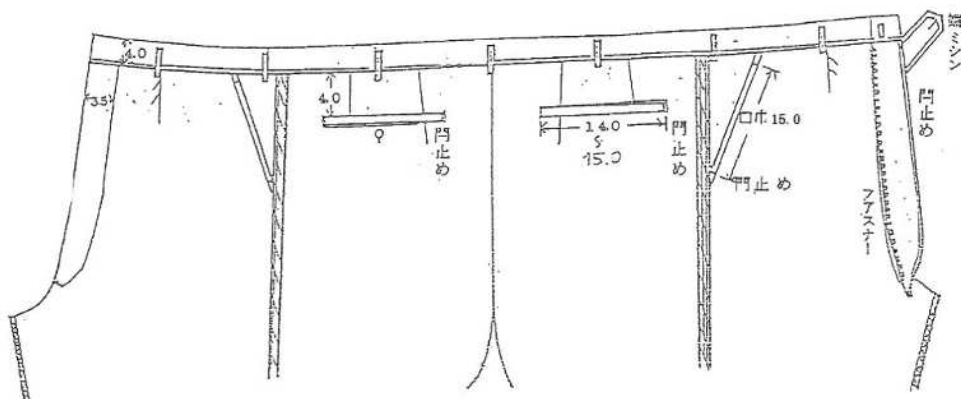
前面図



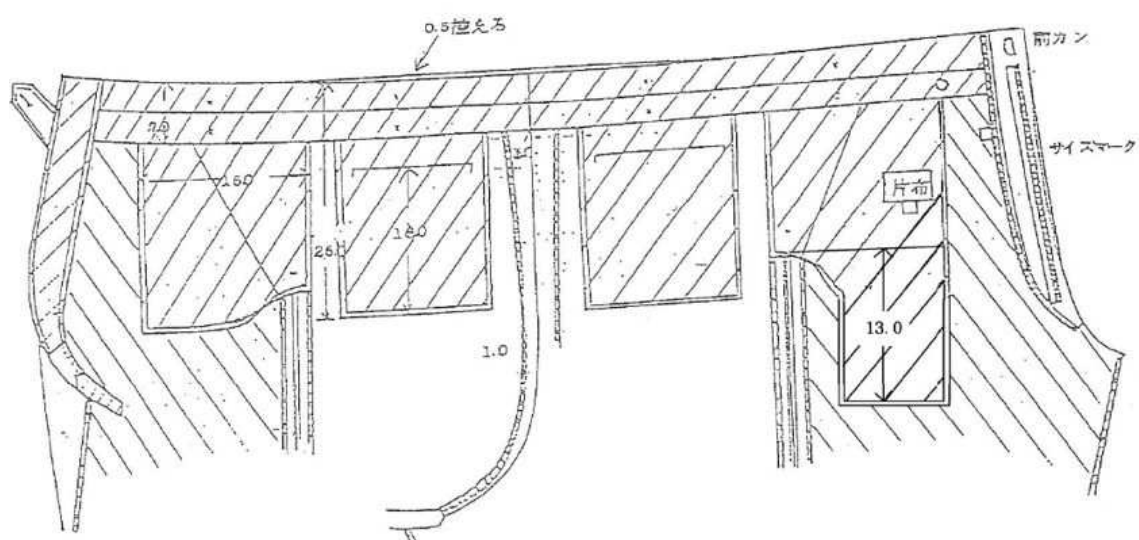
後面図



腰部（表）



腰部（裏）



片布

5.0		7.0
京都市〇〇消防団		
号数	氏 名	
〇号		
（ 業 者 名 ） 納		

消防団員用ネクタイ（男性） 仕様書

京都市消防局消防団・自主防災推進室

（担当：采女、鳥居 212-6617）

1 形状及び寸法

別図のとおり

2 生地

ポリエステル 100%

3 色相

黒色の下地にオレンジ色のストライプとする。（柄の寸法については、別図のとおり）

4 その他

- (1) 現物見本を提示する
- (2) 細部については、すべて当局の承認又は指示を受ける。
- (3) 受注業者は、契約締結後、すみやかに当局担当者と細部打合せを実施すること。
- (4) 受注者は、本製作に着手する前に見本を制作のうえ、当局に提出し承認を得ること。
- (5) 請求書は、購入物品ごとの単価及び数量がわかるよう明記すること。

5 数量

60本

6 納入場所

京都市上京区今小路通御前西入紙屋川町870番地

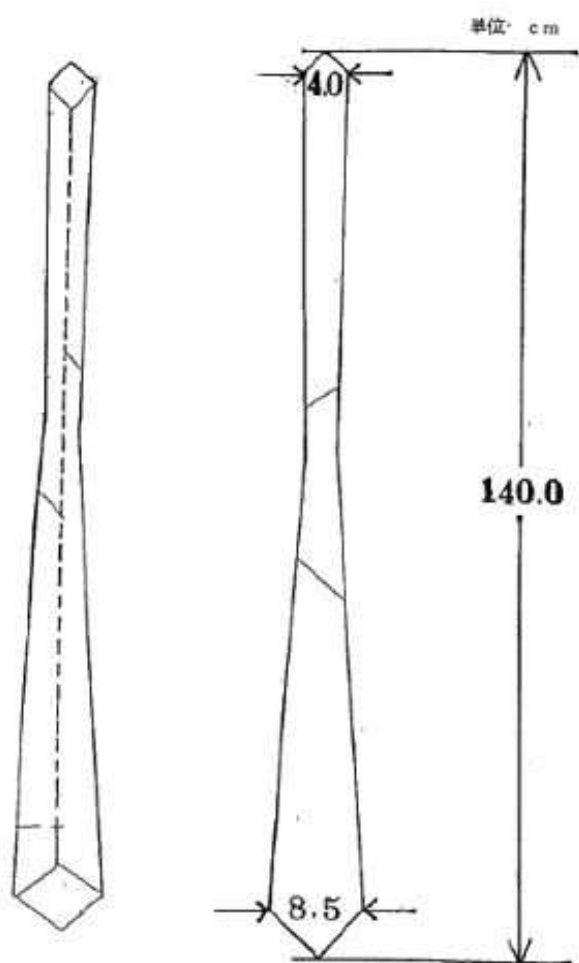
京都市消防局 北野倉庫

7 納期

令和9年3月31日（水）

別図

形状図



柄見本

